

第26回 箕面市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 日時

平成26年12月10日（水） 午前15時00分～午前16時00分

2. 場所

箕面市役所 本館3階 委員会室

3. 出席者

(会長)

・箕面市副市長 伊藤哲夫

(副会長)

・箕面市地域創造部長兼みどりまちづくり部長 広瀬幸平

(監事)

・街づくり支援センターみのお 清田栄紀

(委員)

- ・大阪大学大学院工学研究科助教 猪井博登
- ・阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部部長 庄健介
- ・阪急バス株式会社取締役自動車事業部長 河崎浩一
- ・みのおの交通を考える会 永田よう子
(代理出席) 牧野直子
- ・分科会の副分科会長 西川健一
- ・大阪船場繊維卸商団地協同組合専務理事 工藤寛士
- ・株式会社ジェット統括本部長 妹尾一男
- ・東急不動産 SC マネジメント株式会社みのおキューズモール総支配人 友金聡
- ・株式会社ビバーレコト`ビバーワールド`箕面船場統括マネージャー 米津秀春
- ・学校法人大阪青山学園事務部経理課 地域活動支援室 課長 福田貴夫
- ・大阪府都市整備部交通道路室参事 松江琢也
- ・国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所管理第二課長 竹田佳宏
(代理出席) 保全対策官 雲丹亀和博
- ・大阪府池田土木事務所参事兼維持管理課長 錦織慎
- ・大阪府箕面警察署交通課長 主谷芳雄
- ・箕面市健康福祉部長 小野啓輔
- ・箕面市地域創造部鉄道延伸・まちづくり政策統括監 柿谷武志
- ・国土交通省近畿運輸局自動車交通部旅客第一課長 西川孝秀 (オブザーバー)
(代理出席) 自動車交通部旅客第一課専門官 金澤重之

(欠 席)

- ・愛媛大学大学院理工学研究科教授 松村暢彦
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官（総務企画） 長谷潤
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官（輸送） 湯川義彦
- ・一般社団法人大阪タクシー協会常務理事 井田信雄
- ・阪急バス労働組合副執行委員長 越智啓伸
- ・自転車道ネットワーク公募市民 松木亮
- ・箕面商工会議所総括参与 松出末生
- ・有限会社箕面自動車教習所取締役総務部長 桐村敏昭
- ・粟生第二住宅自治会会長 佐藤大典
- ・箕面市市長政策室長 稲野公一
- ・箕面市子ども未来創造局長 大橋修二
- ・国土交通省近畿運輸局企画観光部交通企画課長 北川健司（オブザーバー）

以上、委員31名のうち20名出席、オブザーバー2名のうち1名欠席。

4. 議 題

- (1) 平成26年度収支予算について
- (2) 本格運行、実証運行の状況について
- (3) 休日限定の実証運行について
- (4) その他

5. 議事要旨

- (1) 平成26年度収支予算について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○特になし

- (2) 本格運行、実証運行の状況について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○特になし

- (3) 休日限定の実証運行について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○現行の5便から6便に便が増えた分、利用者予測数も増やしているのか。

→利用者数は、増やしている。利用者の利用時間を見ると、時間帯による増減は無いので、1便増による利用者数の増加は見込まれると思う。

○パターンダイヤが設定できる可能性はあるのか。

→バス事業者と調整しながら、前向きに進めていきたい。

- パターンダイヤを平日と同様に実現して欲しい。今回の見直し案では、ルートがシンプルとなり、分かりやすくなったと思う。使いやすいネーミングを考えていただき、利用者を増やして欲しい。
- 小野原エリアは、小野原南から迂回しているが、小野原東6丁目の阪急バスセンターでUターンすればよいのではないか。
→今後、市民意見（パブコメ）を予定している。それらの意見も踏まえ検討する。
- 今回の見直しでコンパクトなルートとなるため、乗り継ぎが増えると思う。乗り継ぎを前提としたダイヤの見直しも検討いただきたい。
→利用目的や運転士の休憩時間など、様々な要素もある。これらを加味しながら、ダイヤ調整をバス事業者としていくことになる。
- 運転効率をあげるということだが、運転士の労働時間については、関係法令や事業者の社内基準などを配慮し、調整いただきたい。
→専門部会で確認もしており、引き続きバス事業者と十分調整していく。
- 市民への説明会については、平日の夜や休日に開催するなど、普段働いている人も参加できるよう配慮いただきたい。
→夜や休日の開催も予定している。
- 休日運行については、もう1年社会実験を実施するという事なので、市民には説明会等を通して十分理解いただくよう努めていただきたい。

(6) その他

- 平日に関してだが、市立病院や箕面駅では、バスが同じ時間帯に集中して来ることがある。もう少し運行ダイヤを分散していただきたい。
→市立病院や箕面駅は乗り継ぎ拠点でもあるため、待ち時間無く乗り継ぎができる利点もある。また、各地域から市立病院など必要とする時間に合わせて運行ダイヤを設定している。
- 路線バスが補えないところは、オレンジゆずるバスが対応するなど既存の路線バスとの連携を図っていただきたい。
→路線バスとは、遅延対策としてルートをショートカットした経緯もあるが、競合せず、連携していきたい。

以上